

【様式 02】 高大連携公開講座シラバス

* 科目 No. 39201

1. 開設大学	福山市立大学都市経営学部	開講場所 (キャンパス・施設)	福山市立大学
2. 科目名	社会の動きを統計データ・GISで見る・表現する		
	学問分野	番 号	名 称
3. 担当教員	福山市立大学 都市経営学部 教授 渡邊一成、准教授 大門創		
4. 開講期間 (曜日) 開講時間	平成30年7月21日(土)～平成30年7月22日(日) 7/21:11:15-12:00, 12:30-13:15 7/22:9:45-10:30, 11:00-11:45 (45分×4回)		
個別開講日	1回目 7/21	2回目 7/21	3回目 7/22
	4回目 7/22	5回目 /	6回目 /
	7回目 /	8回目 /	9回目 /
	10回目 /	11回目 /	12回目 /
5. 募集定員	30人		
6. 科目内容・ 授業計画	<p>【科目内容】 この授業では、ソフトウェアの購入が不要で、インターネット環境があれば全国どこでも利用できる「地図による小地域分析(jSTAT Map)」というGIS(地理情報システム)を利用し、人口と施設立地の関係などの社会の動きを、統計データを用いて見る・表現する演習を行います。</p> <p>【授業計画】</p> <p>○1コマ目：演習①「GISを使って都市経営を考えてみよう」 GISを使って、コンビニエンスストアの立地を事例に、まちの特徴を把握するとともに、マーケットリサーチ(立地選定、商圈)の基本的な考え方を学び、GISによる分析結果より、理由や課題などを考えていきます。</p> <p>○2コマ目：演習②「GISを使った基礎演習」 GISの基礎演習として、人口や産業などの国勢調査データを用いて、人が多く集積する人口集中地区等の情報、学校周辺の人口集積(学校から徒歩15分圏内の人口)などの基本的な操作方法の解説・演習を行います。</p> <p>○3コマ目：演習③「GISを使った展開演習」 GISの展開演習として、福山市内のコンビニチェーン店や、備後都市圏内のショッピングセンターを例に、施設名や住所などの施設情報をエクセルで作成し、GISに読み込ませ、分析する方法の解説・演習を行います。</p> <p>○4コマ目：演習④「GISを使った応用演習」 GISの応用演習として、福山市内の公共施設の立地と利用者のニーズ、施設のキャパシティ等を総合的に分析し、改善策を分析・検討する演習を行います。</p>		
7. 受講料	無料		
8. 別途負担費用	(テキスト代・実習料等) なし		
9. 開講条件※1 <input type="checkbox"/> あり・ <input checked="" type="checkbox"/> ない	<p>① 最少開講人数(5人) 定員超過の不許可は選考により決定</p> <p>② 不許可・不開講通知日 (7月13日(金)以前の開講科目は3月末まで/7月14日(土)以降の開講科目は6月末まで)</p>		
10. その他特記事項	受講者についての制限事項、事前に予習しておく資料・文献など特記すべきこと 特になし		
11. 開設大学への 交通手段	http://www.enica.jp/ から開設大学のホームページにジャンプして確認してください。		

※申込時点で原則、受講できます。ただし、開講条件で不許可・不開講があった場合は受講申込者へ通知します。